

3号ごみ焼却施設白煙防止装置設置工事に着手

「工事状況について」

煙突からモクモクと見える白い煙を防止するため、白煙防止装置設置工事をを行っています。工事を行っているのは3号ごみ焼却施設（低い方の煙突を持つ施設）です。1月から現場着手して3月中旬の完成を予定しています。また、今回の工事では、煙突の改修も行います。煙突全体をクリーニングして、頂上部を取替えます。

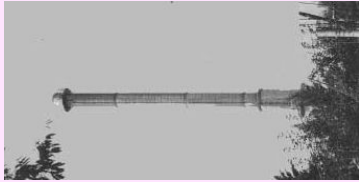
工場の外からは、大型クレーンが動いているところや煙突から吊り下げられたゴンドラを見ることができると思います。

工事は、安全を第一に騒音や松の木通りの走行など、周辺環境に配慮して進めていきます。なお、お気付きの点などがございましたら衛生組合業務課まで連絡をお願いします。

「工事内容について」

白煙は、外気温が低いほど、外気湿度が高いほどよく見えます。ごみ焼却炉の白煙を防止する方法は、排気ガスの温度を上げる方法、排気ガスに含まれる水蒸気を減らす方法、及びこの両方を組み合わせる方法があります。当組合では、排気ガスと同じ温度の熱空気により排気ガスを希釈し、煙突から排出するガスに含まれる水蒸気の比率を下げる方法とすることしました。

この工事の竣工後は、外気湿度50%では気温11.5℃以上の条件であれば白煙が見えなくなくなります。



3号ごみ焼却施設白煙防止装置設置工事	
工 事 内 容	
1	白煙防止装置設置工事
(1)	白煙防止用空気予熱器設置工事
(2)	燃焼用空気予熱器設置工事
(3)	白煙防止用送風機設置工事
(4)	風道及び煙道設置工事
2	煙突補修工事
(1)	銅管部補修工事
(2)	RC部補修工事
3	その他工事

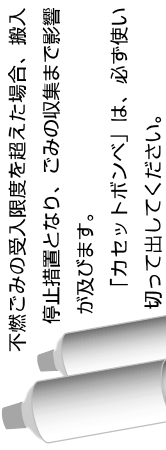
< 白煙の正体は何？ >

ごみ焼却施設の煙突からは、冬の寒い時期や湿度の高い梅雨時などに白い煙が出ます。これは、排気ガスの中に含まれる水分が凝結し白く見えるもので、ばい煙（環境に有害な物）ではありません。

しかし、見る位置によっては、太陽光の影響で灰色に見えることもあり、周辺住民の皆さんからお問い合わせをいただくことがあります。

たかがカセットボンベ

色々な鍋物が美味しい季節になり、カセットコンロを使用する機会が多くなっています。「カセットボンベ」は、使い切るとごみ又は金属の資源物になります。ごみ場合は衛生組合へ搬入されますが、時折ガスの入ったままのボンベが有り、破砕施設が被害を受けています。破砕機の運転ができなくなると、不燃ごみの受入限度を超えた場合、搬入停止措置となり、ごみの収集まで影響が及びます。



「カセットボンベ」は、必ず使い切って出してください。

平成16年度タイオキシンの測定結果

ごみ焼却施設から排出されるタイオキシンの調査

衛生組合では、廃棄物の処理及び清掃に関する法律とタイオキシン類対策特別指置法に基づき、排出ガス等に含まれるタイオキシンの量を測定しています。平成16年度の測定結果は、各基準値に適合する結果となりました。

測定項目 (単位)	排出ガス (mg-TEQ/Nm ³)	焼却灰 (mg-TEQ/g)	ばいじん (飛灰) (mg-TEQ/g)	ガス冷却 ダスト (mg-TEQ/g)	汚泥 (mg-TEQ/g)	排出水 (mg-TEQ/t%)
基準値	1	3	3	3	3	10
3号炉 測定日:平成16年9月30日	0.017	0.0033	0.079	0.012		
4号炉 測定日:平成16年10月14日	0.056	0.0077	0.33	0.068	0.26	0.023
5号炉 測定日:平成16年8月19日	0.039	0.0045	0.31	0.068		

注1) 測定結果は、コプラナー-Pbを含んだ値です。
注2) 1mg(ナノグラム)は、10百分の1グラムです。
注3) 1ppb(ピコグラム)は、1兆分の1グラムです。
注4) TEQは、毒性等量のことです。タイオキシン類の量をタイオキシンの中で最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ダイオキシンの毒性等量に換算した数値です。
注5) Np(ノルマル立方メートル)は摂氏0度の、1気圧の状態に換算した気体の単位です。
注6) 汚泥及び排出水の測定日は3号炉の測定日と同一です。

大気中のタイオキシンの調査

衛生組合では、清掃工場周辺の大気中のタイオキシン類調査を立川市清掃工場と連携して年2回実施しています。平成16年度冬の調査結果は、いずれの調査地点においても調査基準に適合するものでした。なお、平成16年度冬季の調査は平成17年2月に予定しています。

調 査 地 点	測定値	調査期間: H16.8.20~8.27	平成15年度平均値
東 和 市 立 第 二 中 学 校	0.035		0.044
小 平 市 立 中 島 地 域 セ ン タ ー	0.047		0.049
小 平 市 立 上 水 新 町 地 域 セ ン タ ー	0.040		0.046
立 川 市 立 幸 小 学 校	0.038		0.048
立 川 市 立 若 鷲 小 学 校	0.044		0.041
立 川 市 立 立 若 鷲 小 学 校	0.045		0.044
環 境 基 準			0.6以下

ごみ組成分析調査隊からの報告

衛生組合では、ごみの分別状況やリサイクル等による排出抑制の大切さを多くの皆

さんに体験していただくため、小平市、東大和市、武蔵村山市から実際に衛生組合に搬入されるごみの分析調査を行いました。

調査は、それぞれの市ごとに家庭から出た不燃ごみを大きなシートの上に広げ、一つひとつ分類して行ないます。調査結果は下記のとおりですが、不燃ごみの中にはまだまだ皆さんの可燃物や資源物が含まれています。

皆さんには、さらなる分別にご協力をお願いいたします。

◆調査実施日 平成16年11月20日(土) ◆参加者人数 24人 単位:重量%

調 査 結 果	項 目	小平市	東大和市	武蔵村山市
	可 燃	32.9	2.7	2.4
	不 燃	45.7	88.5	82.5
	資 源	21.4	7.7	15.1
	適正処理 困難物	0	1.1	0

参加者からは次のような意見や感想がありました。

- ・まだ使えるのにもったいない
- ・参加してよかった
- ・多くの人に参加してもらいたい

※ごみの分別方法は粗細別により異なります。小平市では黒リジンを黒色やラップ・レジ袋などのフィルム状プラスチックを可燃(燃える)ごみとして扱っています。

募集

ごみ組成分析調査隊員の募集

- 調査日時／平成17年3月19日(土)午前9時から正午まで
○集合場所／小平・村山・大和衛生組合
○募集人員／60名(後市20名)
○申込締切／平成17年2月21日(月)
※参加者には「調査隊マニュアル」を事前にお送りします。
- 小平市環境部リサイクル推進課 武蔵村山市生活環境部環境課
電話 042-346-9535(直通) 電話 042-565-1111(代表)
東大和市生活環境部ごみ対策課 小平・村山・大和衛生組合総務課
電話 042-563-2111(代表) 電話 042-341-4345



申込先